

9月27日 南本町（南本町会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- 新庁舎の供用開始は、いつ頃になるのか。
⇒ 令和11年11月の供用開始を予定しています。新庁舎は現庁舎の駐車場に建設します。その間は駐車場が利用できませんので、大磯港の駐車場を利用いただき、シャトルバスを運行することを考えています。
- 町の実質的な借金である約50億円は、どれくらいの期間で返済するのか。
⇒ 30年間の返済を想定しており、利子含め年間2～3億円を返済する見込みです。
- 今後の人口減少対策は、どんなところに重きを置いていこうと考えているのか。
⇒ 各種メディアでも取り上げていただけるようになり、大磯は移住先として人気も出てきていると感じています。しかし、町内に住宅が不足しているという課題があります。大磯町は平塚市や茅ヶ崎市のように、マンションを建設して住宅を増やすことができませんので、来年度からは空き家対策に更に力を入れていくつもりです。
こうした対策については、財源が必要となりますので、ふるさと納税などにより財源を確保していきたいと考えています。
- 空き家を活用する方に対して、リフォーム費用などを補助する考えはないのか。
⇒ 来年度に空き家のリフォームや解体への支援制度を作る方向で検討しています。
- 消防庁舎の建替えの話があるが、現消防庁舎のある場所に建て替えるのか、他の場所に移転するのか。
⇒ 現消防庁舎は耐震診断で耐震性が保たれていないことが分かったため建て替える方針です。本署と国府分署を統合し、西小磯付近に移転先を探しています。新消防庁舎には武道館も整備する予定です。
- 消防庁舎の建替えには、どれくらいの費用が掛かるのか。また、どの程度の借金を見込んでいるのか。
⇒ 建替え費用は10～20億円程度を見込んでいます。その全額を借金することになりますが、7割程度を国からの地方交付税で賄うことができると想定していますので、建替え費用を20億円としますと、実質的な町の借金は6億円程度となる見込みです。
- 現消防庁舎1階の消防車両の車庫の床面の鉄筋が剥き出しになっている。車両のパン

クヤ、署員がつまずいて転倒する可能性もあり心配である。

⇒ 現場を確認し、道路課技術作業員により改修済みです。

- 中南信用金庫本店は津波避難ビルに指定されているが、緊急時の利用方法が分からない。北本町区長も心配していた。

⇒ 利用方法などの詳細を確認して、担当課から区長へご連絡させていただきました。

- 大磯町といえば海である。最近は大磯海水浴場の海の家が少なくなったが、町で何か対策は考えていないのか。

⇒ 海を中心にした観光振興策について、東京海洋大学と研究会を立ち上げて検討を始めました。来年度には、順次できるところから具体策を進めていきたいと考えています。

- 今後、税金の額が上がることはないのか。

⇒ 大磯町は地方交付税の交付を受けている自治体のため、税収が増えても減っても歳出に対して歳入が不足する部分は、地方交付税により補てんされるという仕組みになっています。そのため、ふるさと納税などの税外収入を増やすことが重要であり、税金を上げて税収を増やすことは考えていません。

- 今後、大磯駅前広場はどのようになるのか。

⇒ 新しい観光案内所が完成し、旧観光案内所が撤去されました。今年度は新しい交番が建設され、来年度には旧交番が撤去され、隣接する県道大磯停車場線の駅前広場から石垣部分までの拡幅工事が進む予定です。旧交番が撤去された後の広場整備の詳細は検討中ですが、町民の皆様のご意見を伺いながら進めていきます。

- 日本端子株式会社大磯工場はどうなるのか。また、NCR跡地はどうなっているのか。

⇒ 日本端子株式会社大磯工場は、南足柄市のアサヒビール工場跡地に移転し、現工場の跡地は売却する予定と聞いています。NCR跡地については、地下タンクにPCB（ポリ塩化ビフェニル）に汚染された土が保管されています。この処分が大きな課題であり、新たな土地利用には移れないと聞いています。

- 7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した地震の際に、町の防災・行政ナビの情報とNHKの情報に相違があった。その原因は何か。

⇒ NHKの情報は町が県へ報告した情報が元になっています。今回の情報相違については、県からの情報がNHKに上手く伝わっていなかったことが原因です。今後はこのようなことがないように、県には情報提供システムの改修をお願いしています。

- 災害時に一時避難場所に来たが、開放されておらず帰られる方もいるようである。一時避難場所が開放されている旨を伝える手段を検討しているのか。
 - ⇒ 避難情報は防災・行政ナビ（ライフ・ビジョン）で逐次お知らせしていますので、多くの方にご登録いただくことが一番だと考えます。

- 徳洲会湘南大磯病院の建替えの情報を町は把握しているのか。また、大磯町には大きな病院は徳洲会湘南大磯病院のみなので、診療科の充実についても要望してほしい。
 - ⇒ 病院の建替えについては、今年度に設計を行い、来年度から3年間程度で建て替えると聞いていましたが、資材の高騰などで工程が遅れそうです。
診療科の充実については、医師不足という現状を踏まえ、県内の大学病院などにも相談しています。

- 徳洲会湘南大磯病院に人気の医師がいれば、大磯町に移り住んでくれる方も増えるのではないかと。また、人間ドッグをふるさと納税の返礼品に加えることができないのか。
 - ⇒ 今後、徳洲会湘南大磯病院では健診機能を充実していくということですので、健康長寿と地域活性化という観点から、大磯プリンスホテルなども巻き込んで1泊2日の健診ツアーを企画することを考えているところです。

- 大磯港と小田原港を結ぶ遊覧船によるツアーなどは、考えていないのか。
 - ⇒ 県では、県が管轄する港（葉山港、湘南港（藤沢）、大磯港、真鶴港）を拠点としてクルージングツアーを不定期に実施しています。町としては、定期便を作り、ふるさと納税の返礼品にしたいとも考えています。

以上